

一般社団法人 日本原子力学会
第 89 回 標準委員会 議事録

I-1 日 時：2022 年 9 月 14 日（水）13：30～17:20

I-2 会議方式：Web 会議

I-3 出席者（敬称略）

（出席委員）山本委員長，中村副委員長，成宮幹事，井口，石川，岡本（15 時まで），小澤，木倉，黒田，越塚，酒井，清水，関村，高田，高橋，田中，戸澤，西川，松井，椋木，山口，山野（22 名）

（委員代理者）岡本道明（竹山委員代理），鬼沢邦雄（岡本委員代理，15 時から）（2 名）

（フェロー委員）宮野（1 名）

（欠席委員）牛尾（1 名）

（欠席常時参加者）佐々木，篠田，鈴木，藤澤（4 名）

（委員候補者）田中正和（九州電力）（1 名）

（オブザーバ）田村明男（原子燃料サイクル専門部会委員），
新崎雅志（原子燃料サイクル専門部会 LLW 放射能評価分科会幹事）（2 名）

（説明者）【リスク専門部会 レベル 2PRA 分科会】濱崎幹事

【リスク専門部会 PRA 品質確保分科会】倉本委員

【システム安全専門部会 統合的安全性向上分科会】松本副主査，倉本幹事

【システム安全専門部会 PLM 分科会】中川幹事，櫛崎常時参加者

【基盤応用・廃炉技術専門部会 廃止措置分科会】田中幹事，工藤委員

【基盤応用・廃炉技術専門部会 放出源の有効高さ評価分科会】

佐田副主査，渡辺幹事，岡林委員

【原子燃料サイクル専門部会 LLW 処分安全評価分科会】竹内幹事，中居委員，山岡委員

【原子燃料サイクル専門部会 LLW 埋施設検査方法分科会】山田幹事，斉藤常時参加者

【原子燃料サイクル専門部会 LLW 放射能評価分科会】大畑委員

【原子燃料サイクル専門部会 リサイクル燃料貯蔵分科会】白井幹事

【標準活動基本戦略タスク】成宮主査，湊幹事，鬼沢委員，清水委員

（延べ計 22 名）

（事務局）大沼，正岡，平野（3 名）

I-4 配布資料：（議事録末尾に一覧を掲載）

II 議事内容

事務局から，開始時点で委員（フェロー委員含め）25 名中，開始時点で 24 名の出席があり，委員会成立に必要な定足数（17 名以上）を満足している旨の報告があった。

1. 前回議事録の確認（SC89-1）

前回議事録（案）は既に配布・修正されていることを確認し，読み上げは割愛した。

2. 人事について (SC89-2-01~2-03)

2.1 資料 SC89-2-01, SC89-2-02 に基づき, 標準委員会, 専門部会の人事について以下の提案及び報告があった。

a. 標準委員会

①理事会による委員選任承認の確認

清水 勝 MHI NS エンジニアリング 2022. 06. 17 理事会承認

西川 武史 関西電力 2022. 06. 17 理事会承認

山野 秀将 日本原子力研究開発機構 2022. 06. 17 理事会承認

②理事会による委員再任承認の確認

牛尾 直史 原子燃料工業 2022. 06. 17 理事会承認

小澤 隆 日本電機工業会 2022. 06. 17 理事会承認

成宮 祥介 原子力安全推進協会 2022. 06. 17 理事会承認

③委員退任の確認

金子 武臣 九州電力 2022. 06. 30

④委員選任の決議

田中 正和 九州電力

⑤委員再任の決議

関村 直人 東京大学 2022. 12~2024. 11

理事会による委員の選任・再任承認の確認, 及び委員退任の確認があり, また, 審議の結果, 委員の選任・再任等が決議された。

また, 委員長から, 成宮幹事が本日を以って幹事を退任すること, 新たに西川委員を幹事に指名することの説明があった。

b-1. リスク専門部会

①委員退任の確認

津村 真吾 中部電力 2022. 06. 30

益子 裕之 原子燃料工業 2022. 06. 30

②委員選任の承認 (決議)

柿木 俊平 原子燃料工業

竹下 明 中部電力

③委員再任の承認 (決議)

桐本 順広 電力中央研究所 2022. 12~2024. 11

倉本 孝弘 原子力エンジニアリング 2022. 12~2024. 11

栗坂 健一 日本原子力研究開発機構 2022. 12~2024. 11

曾根田 秀夫 日立 GE ニュークリア・エナジー 2022. 12~2024. 11

吉田 一雄 日本原子力研究開発機構 2022. 12~2024. 11

④常時参加者解除確認の確認

堀田 亮年 原子力規制庁 2022. 08. 09

b-2. システム安全専門部会

①委員退任の確認

尾家 隆司	関西電力	2022. 07. 30
益田 真之介	東北電力	2022. 08. 08

②委員選任の承認（決議）

大友 恒人	東北電力	SAM 分科会代表者
三山 彰一	関西電力	

③委員再任の承認（決議）

阿部 弘亨	東京大学	2022. 11～2024. 10
鈴木 嘉章	原子力安全推進協会	2022. 11～2024. 10
岡本 孝司	東京大学	2022. 12～2024. 11

b-3. 基盤応用・廃炉技術専門部会

①委員退任の確認

藤井 裕	日本原子力発電	2022. 07. 01
坂本 幸夫	アトックス	2022. 08. 04
増田 良一	東京電力ホールディングス	2022. 08. 31

②委員選任の承認（決議）

大塚 康介	東京電力ホールディングス	
奥野 功一	安藤ハザマ	放射線遮蔽分科会代表者
渡辺 進一	日本原子力発電	放出源の有効高さ評価分科会代表者

③委員再任の承認（決議）

吉田 啓之	日本原子力研究開発機構	2022. 11～2024. 10
-------	-------------	-------------------

b-4. 原子燃料サイクル専門部会

①委員退任の確認

澤田 健太	日揮	2022. 08. 31
-------	----	--------------

②委員選任の承認（決議）

菊池 孝浩	日揮	
-------	----	--

③委員再任の承認（決議）

高橋 浩之	東京大学	2022. 12～2024. 11
柳原 敏	福井大学	2022. 12～2024. 11

b-1～4 の各専門部会について、委員の退任等が確認され、委員の選任・再任が承認された。

2.2 標準活動基本戦略タスクの人事

事務局から SC89-2-03 に基づき、標準活動基本戦略タスクの人事（2名の退任、3名の新任）について説明があった。さらに、2.1 a. の標準委員会人事異動を受け、明日からは西川幹事をタスク主査として指名すること、成宮委員はタスク委員を継続することが説明され、特に異論なく了承された。

また、委員長から、成宮委員は原子力関連学協会規格類協議会の委員も継続することとし、標準委員会からは三役、関村委員、宮野委員、成宮委員が参加する体制とすることが説明された。

3. 審議事項

(1) 【報告】（制定後・発行後の修正）

- ① “原子力発電所の高経年化対策実施基準：202X（追補1）” 標準改定原案に関する修正について
- ② “原子力発電所の内的事象を起因とした確率論的リスク評価に関する基準（レベル1PRA編）：2022” の修正について（事後報告）
- ③ “原子力発電所の高経年化対策実施基準：2021” まえがきの訂正について
事務局から SC89-3-01-1-1～SC89-3-01-3 に基づき、題記標準について報告があり、この対応について確認された。

(2) 【報告・審議】（発行前の誤記修正）

“原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準（レベル2 PRA編）：20XX”（津波への拡張）の誤記チェックの結果について

（担当：リスク専門部会 レベル2PRA分科会 濱崎幹事）

リスク専門部会 レベル2PRA分科会 濱崎幹事から SC89-3-02 に基づき、題記標準について報告があり、審議の結果、この修正にて再制定・発行することが決議された。

(3) 【報告・審議】（公衆審査結果）

“原子力施設の廃止措置の基本安全基準：20XX” 標準原案に関する公衆審査の結果及び誤記修正について

（担当：事務局，基盤応用・廃炉技術専門部会 廃止措置分科会 田中幹事）

基盤応用・廃炉技術専門部会 廃止措置分科会 田中幹事から SC89-3-03-1～3 に基づき、題記標準について報告があり、審議の結果、この修正にて発行へ進めることが決議された。

主な質疑，コメント等は次のとおり。

Q: 転載許諾の対応は？

A: 転載許諾に必要な資料を作成し，学会事務局に提出済である。IAEA のレポートがほとんどで，保健物理からの転載が1件ある。

(4) 【報告・審議】（公衆審査結果）

“発電用原子炉施設の廃止措置計画策定基準：20XX” 標準原案に関する公衆審査の結果及び受け付けた意見への対応について

（担当：事務局，基盤応用・廃炉技術専門部会 廃止措置分科会 田中幹事）

基盤応用・廃炉技術専門部会 廃止措置分科会 田中幹事から SC89-3-04-1～4 に基づき，題記標準について報告があり，審議の結果，ご意見への対応，並びにこの修正にて制定・発行することが決議された。

主な質疑，コメント等は次のとおり。

Q: 転載許諾の対応は？

A: 転載許諾に必要な資料を作成し，学会事務局に提出済である。件数は3件で，2件は電力会社，1件はIAEAである。

(5) 【報告・審議】（標準委員会決議投票結果）

“発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準：20XX” 標準原案に関する標準委員会決議投票の結果及び受け付けた意見への対応について

（担当：事務局，基盤応用・廃炉技術専門部会 廃止措置分科会 田中幹事，工藤委員）

基盤応用・廃炉技術専門部会 廃止措置分科会 田中幹事，工藤委員から SC89-3-05-1～5 に基づき，題記標準について報告があり，審議の結果，転載許諾が得られることを条件として，取得後2か月間の公衆審査へ移行することが決議された。

主な質疑，コメント等は次のとおり。

Q: 転載許諾に3か月程度の期間が必要とのことだが？

A: 安全評価基準の主たる項目であるグレーデッドアプローチ適用の例示について，NEDに投稿した論文を引用しており，Elsevierへの転載許諾手続きが必要であり，許可取得までに3か月を要すると聞いている。

C: 引用元が海外の文献の場合，海外の法律に従うことが必要

(6) 【報告・審議】（標準委員会意見募集結果及び転載許諾出典元の明記）

“原子力発電所の継続的な安全性向上のためのリスク情報を活用した統合的意思決定に関する実施基準:2019”英訳版原案に関する標準委員会意見募集の結果及び転載許諾出典元の明記について

(担当: 事務局，システム安全専門部会 統合的安全性向上分科会 松本副主査，倉本幹事，リスク専門部会 PRA品質確保分科会 倉本委員)

システム安全専門部会 統合的安全性向上分科会 倉本幹事からSC89-3-06-1~3に基づき，題記標準について報告があり，審議の結果，この修正にて制定・発行することが決議された。

(7) 【報告・審議】（本報告）

“原子力発電所の高経年化対策実施基準:202X(追補2)”標準原案に関する本報告について

(担当: システム安全専門部会 PLM分科会 中川幹事，榑崎常時参加者)

システム安全専門部会 PLM分科会 榑崎常時参加者からSC89-3-07-1~2に基づき，題記標準について報告があり，審議の結果，30日間の書面投票に移行することが決議された。(投票対象: SC89-3-07-2)

主な質疑，コメント等は次のとおり。

Q: 部会での審議で論点となったことはあるか？

A: 資料に記載した審議資料(標準原案別冊CDデータ)の取り扱いを再確認したのみ。

C: 了解。

(8) 【報告・審議】（本報告）

“発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための数値モデル計算実施基準:20XX”標準原案に関する本報告について

(担当: 基盤応用・廃炉技術専門部会 放出源の有効高さ評価分科会 佐田副主査，渡辺幹事，岡林委員)

基盤応用・廃炉技術専門部会 放出源の有効高さ評価分科会 渡辺幹事からSC89-3-08-1~3に基づき，題記標準について報告があり，審議の結果，30日間の書面投票に移行することが決議された。(投票対象: SC89-3-08-2)

主な質疑，コメント等は次のとおり。

Q: この標準はどのような場面で活用されるのか？

A: 原子力発電所の安全審査における放出評価において使用されることを期待している。

Q: 以前は，新規立地は風洞実験を行い，増設・変更の際は数値モデルを使用できるとの位置づけであったと記憶しているが，位置付けが変わったのか？

A: 学会標準の位置付けとしては制定当初から数値モデルも風洞実験と同様に使用できることを目標としており，今回の改正にあってもその位置付けに変更はない。ただし，現状の安全審査では風洞実験が使用されており，数値モデルはまだまだ発展途上にあるとの認識。今後数値モデルが適用されるように，まずはご指摘のように風洞実験の補完的な使い方から始め，その実績を徐々に積み上げていき，最終的な目標として風洞実験を代替できるよう発展させていきたい。

C: 標準として，それを明確にした方がよい。

(9) 【報告・審議】（標準委員会意見募集結果）

“低レベル放射性廃棄物処分施設の安全評価の実施方法—中深度処分編—：20XX”標準原案に関する標準委員会意見募集の結果及び受け付けた意見への対応について

(担当：事務局，原子燃料サイクル専門部会 LLW 処分安全評価分科会 竹内幹事，中居委員，山岡委員)

原子燃料サイクル専門部会 LLW 処分安全評価分科会 竹内幹事から SC89-3-09-1~4 に基づき，題記標準について報告があり，審議の結果，本報告へ向けて検討を進めることとした。

主な質疑，コメント等は次のとおり。

Q:今後実施する NRA 技術ノート対応について，技術ノートの内容と本標準案との整合性の確認というよりも，技術ノートの内容の妥当性の確認を行った上で標準案の改定が必要かどうかの検討を行う流れで良いか。

A:NRA が 8 月末に公開した 技術ノートは，改正された許可基準規則や審査ガイドに関して，その内容がどの様に決まったかの説明資料の位置づけである。そのため標準に対して直接影響のある資料ではなく，説明用に必要な部分を引用する資料と考えている。

C:技術ノートの内容について，その妥当性を学会の立場で判断することを留意して欲しい。

(10) 【報告・審議】（標準委員会意見募集結果）

“低レベル放射性廃棄物処分施設の施設検査方法：20XX —浅地中処分施設編—”標準原案に関する標準委員会意見募集の結果及び受け付けた意見への対応について

(担当：事務局，原子燃料サイクル専門部会 LLW 埋設施設検査方法分科会 山田幹事，斉藤常時参加者)

原子燃料サイクル専門部会 LLW 埋設施設検査方法分科会 山田幹事，斉藤常時参加者から SC89-3-10-1~4 に基づき，題記標準について報告があり，審議の結果，本報告へ向けて検討を進めることとした。

(11) 【報告・審議】（中間報告）

“原子力発電所の安全性向上のための定期的な評価に関する実施基準：202X”標準改定に関する中間報告について

(担当：システム安全専門部会 統合的安全性向上分科会 松本副主査，倉本幹事)

システム安全専門部会 統合的安全性向上分科会 倉本幹事から SC89-3-11-1~2 に基づき，題記標準について報告があり，審議の結果，30 日間の意見募集を行うことが決議された。

(12) 【報告・審議】（技術評価の学会対応者の変更）

“中深度処分対象廃棄物の放射能濃度決定方法の基本手順”の NRA 技術評価への学会対応者の変更について

(担当：原子燃料サイクル専門部会 LLW 放射能評価分科会 大畑委員)

原子燃料サイクル専門部会 LLW 放射能評価分科会 大畑委員から SC89-3-12 に基づき，題記対応者変更について報告があり，審議の結果，対応者の変更を承認することが決議された。

(13) 【報告】（趣意書説明）

“使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準:2021”の改定について

(担当：原子燃料サイクル専門部会 リサイクル燃料貯蔵分科会 白井幹事)

原子燃料サイクル専門部会 リサイクル燃料貯蔵分科会 白井幹事から SC89-3-13 に基づき，題記標準改定について報告があり，審議の結果，改定検討を進めることとした。

(14) 【報告】

“原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準(レベル2 PRA 編):2021” (地震への拡張)の ASRAM 2022 への投稿について

(担当：リスク専門部会 レベル 2PRA 分科会 濱崎幹事，廣内幹事，山越幹事，吉田幹事)

リスク専門部会 レベル 2PRA 分科会 濱崎幹事から SC89-3-14 に基づき，題記標準改定について報告があり，審議の結果，ASRAM 2022 への投稿について承認された。

4. 標準活動基本戦略タスク・原子力安全検討会の活動

(4-1) 【報告】

標準活動基本戦略タスクの報告と論点

(担当：標準活動基本戦略タスク 成宮主査)

標準活動基本戦略タスク 成宮主査から SC89-4-01-1～3 に基づき、標準活動基本戦略タスクの議事録、標準委員会全体工程、標準運営委員会議事録について報告があった。

(4-2) 【報告】

2022 年度標準委員会の日程について

(担当：事務局)

事務局から SC89-4-02 に基づき、今年度の日程について報告があった。

(4-3) 【報告】

原子力関連学協会規格類協議会の課題について

(担当：標準活動基本戦略タスク 成宮主査)

標準活動基本戦略タスク 成宮主査から口頭にて、規格類協議会の課題について報告があった。2018 年のステートメントの各項目を基にして、その達成状況とその後の周囲状況の変化を踏まえて協議会としての課題を整理中であることが報告された。

(4-4) 【報告】

3 学協会ピアレビューの実施について

(担当：標準活動基本戦略タスク 湊幹事)

標準活動基本戦略タスク 湊幹事から SC89-4-05-1～2 に基づき、3 学協会ピアレビューの実施状況について報告があった。

(4-5) 【報告】

倫理教育の実施状況について

(担当：標準活動基本戦略タスク 清水委員)

標準活動基本戦略タスク 清水委員から SC89-4-05 に基づき、標準委員会の倫理教育の実施状況について報告があった。

(4-6) 【報告】

標準委員会企画セッションについて

(担当：標準活動基本戦略タスク 鬼沢委員)

標準活動基本戦略タスク 鬼沢委員から SC89-4-06 に基づき、学会 2022 年秋の大会における企画セッション「リスク情報活用にかかる標準整備への研究成果の活用」の実施状況について報告があった。

主な質疑、コメント等は次のとおり。

C:NRA 濱口氏から率直なご意見をいただいた。

C:対面開催が良かったと思う。

C:討論の時間 (30 分) は短かいので、もっと長くとりたい。

C:次の春の年会でも企画セッションを実施したいので、協力をお願いします。

(4-7) 【報告】

長期運転体系検討タスクのフェーズ 2 展開に伴う日本電気協会への協力依頼について

(担当：標準活動基本戦略タスク 成宮主査)

標準活動基本戦略タスク 成宮主査から SC89-4-07 に基づき、長期運転体系検討タスクのフェーズ 2 の検討メンバーについて、電気協会への協力を依頼する。前回の運転・保守の専門家他に、構造関係の専門家にも参加いただくように調整中。

主な質疑，コメント等は次のとおり。

Q:電気協会からは一人ずつの参加か。

A:3名ずつ程度の予定。

(4-8) その他

- ・本日の議題に入っていない事項について質問があった。

Q:来週開催される JCNRM への対応状況はどうなっているか。

A:日本から JIWG の山中チェアマン（電事連）以下3名が参加する。

新しいWGのメンバーに日本からも加わる依頼があり，調整中。

IRIDM 標準の英文版も出しており，この内容について紹介し，協議する予定。

- ・次回は 2022 年 12 月 7 日（水）10 時から開催予定。

次々回は 2023 年 3 月 1 日（水）10 時から開催予定。

【配布資料】

- SC89-0 第 89 回標準委員会議事次第
- SC89-1 第 88 回標準委員会議事録（案）
- SC89-2-01 人事について（標準委員会）
- SC89-2-02 人事について（専門部会）
- SC89-2-03 標準活動基本戦略タスク委員名簿
- SC89-3-01-1-1 “原子力発電所の高経年化対策実施基準：202X（追補 1）” 標準改定原案に関する修正について
- SC89-3-01-1-2 “原子力発電所の高経年化対策実施基準：202X（追補 1）” 標準改定原案（完本版）
- SC89-3-01-2 “原子力発電所の内的事象を起因とした確率論的リスク評価に関する基準（レベル 1PRA 編）：2022” の修正について（事後報告）
- SC89-3-01-3 “原子力発電所の高経年化対策実施基準：2021” まえがきの訂正について
- SC89-3-02 “原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準（レベル 2 PRA 編）：20XX”（津波への拡張）の誤記チェックの結果について
- SC89-3-03-1 “原子力施設の廃止措置の基本安全基準：20XX” 標準原案に関する公衆審査の結果について
- SC89-3-03-2 「原子力施設の廃止措置の基本安全基準：20XX」公衆審査結果及び対応案について
- SC89-3-03-3 “原子力施設の廃止措置の基本安全基準：20XX”（案）公衆審査対応版
- SC89-3-04-1 “発電用原子炉施設の廃止措置計画策定基準：20XX” 標準原案に関する公衆審査の結果について
- SC89-3-04-2 “発電用原子炉施設の廃止措置計画策定基準：20XX” 公衆審査結果及び対応案について
- SC89-3-04-3 “発電用原子炉施設の廃止措置計画策定基準：20XX” 公衆審査 落合兼寛様ご意見への回答（案）
- SC89-3-04-4 “発電用原子炉施設の廃止措置計画策定基準：20XX”（案）公衆審査時意見対応版
- SC89-3-05-1 “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準：20XX” 標準原案に関する標準委員会決議投票の結果について
- SC89-3-05-2 “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準：20XX” 標準原案に関する標準委員会決議投票コメント対応案について
- SC89-3-05-3 “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準：20XX”（案）完本版
- SC89-3-05-4 “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準：20XX”（案）新旧対比表
- SC89-3-05-5 “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準：20XX” 標準原案に関する標準委員会決議投票コメント対応表

- SC89-3-06-1 “原子力発電所の継続的な安全性向上のためのリスク情報を活用した統合的意思決定に関する実施基準：2019” 英訳版原案に関する標準委員会意見募集の結果について
- SC89-3-06-2 “原子力発電所の継続的な安全性向上のためのリスク情報を活用した統合的意思決定に関する実施基準：2019” 英訳版原案 標準委員会報告後の修正について
- SC89-3-06-3 “原子力発電所の継続的な安全性向上のためのリスク情報を活用した統合的意思決定に関する実施基準：2019” <英訳版標準原案：標準委員会報告後転載明示版>
- SC89-3-07-1 “原子力発電所の高経年化対策実施基準：202X（追補2）” 標準原案に関する本報告について
- SC89-3-07-2 “原子力発電所の高経年化対策実施基準：202X（追補2）” 標準原案
- SC89-3-08-1 “発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための数値モデル計算実施基準：20XX” 標準原案に関する本報告について
- SC89-3-08-2 “発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための数値モデル計算実施基準：20XX” 標準原案（完本版）
- SC89-3-08-3 “発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための数値モデル計算実施基準：20XX”（案）修正前後比較表
- SC89-3-09-1 “低レベル放射性廃棄物処分施設の安全評価の実施方法—中深度処分編—：20XX” 標準原案に関する標準委員会意見募集の結果について
- SC89-3-09-2 “低レベル放射性廃棄物処分施設の安全評価の実施方法—中深度処分編—：20XX” 標準原案に対する意見への対応について
- SC89-3-09-3 “低レベル放射性廃棄物処分施設の安全評価の実施方法—中深度処分編—：20XX” 標準原案に関する再中間報告の意見への対応について
- SC89-3-09-4 “低レベル放射性廃棄物処分施設の安全評価の実施方法—中深度処分編—：20XX” 改定案（完本版）
- SC89-3-10-1 “低レベル放射性廃棄物処分施設の施設検査方法：20XX —浅地中処分施設編—” 標準原案に関する標準委員会意見募集の結果について
- SC89-3-10-2 “低レベル放射性廃棄物処分施設の施設検査方法：20XX —浅地中処分施設編—” 標準原案に対する意見への対応について
- SC89-3-10-3 “低レベル放射性廃棄物処分施設の施設検査方法：20XX —浅地中処分施設編—” 標準原案に関する標準委員会意見募集の結果に関する対応
- SC89-3-10-4 “低レベル放射性廃棄物処分施設の施設検査方法：20XX —浅地中処分施設編—” 標準原案（標準委員会中間報告からの変更履歴）
- SC89-3-11-1 “原子力発電所の安全性向上のための定期的な評価に関する実施基準：202X” 標準改定に関する中間報告について
- SC89-3-11-2 “原子力発電所の安全性向上のための定期的な評価に関する実施基準：202X”（案）[標準委員会 中間報告] 版
- SC89-3-12 “中深度処分対象廃棄物の放射能濃度決定方法の基本手順” の NRA 技術評価への学会対応者の変更について
- SC89-3-13 趣意書「使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準（AESJ-SC-F002:2021）」の改定について
- SC89-3-14 “原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準（レベル2 PRA 編）：2021”（地震への拡張）の ASRAM 2022 への投稿について
- SC89-4-01-1 標準活動基本戦略タスク 2022 年度第2回議事録（案）
- SC89-4-01-2 標準委員会活動全体計画（案）（年間工程表）

- SC89-4-01-3 2022 年度第 1 回標準活動運営委員会議事録（案）
SC89-4-02 2022年度の標準委員会開催日について（案）
SC89-4-03 （資料無し）
SC89-4-04-1 原子力関連学協会規格類協議会 2022 年度学協会規格ピアレビュー計画について
SC89-4-04-2 原子力関連学協会規格類協議会 学協会規格ピアレビュー計画書
SC89-4-05 倫理教育の実施状況について
SC89-4-06 日本原子力学会 2022 年秋の大会 標準委員会企画セッション 議事報告（速報）
SC89-4-07 長期運転体系検討タスクのフェーズ 2 企画書
- SC89参考1 標準委員会委員名簿
SC89参考2 標準委員会出席状況（79回～88回）
SC89参考3 標準委員会の活動状況
SC89参考4 専門部会の活動状況

以 上